

科目名	保健・体育 Health and Physical Education			担当教員	横山学		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	11G02_20120	単位区別	履修
学習目標	様々なスポーツの運動理論を理解し、基礎技術を修得する。その種目のルールを把握し、それらのスポーツを 実践できるようにする。また、スポーツテスト等で個人の体力・運動能力を把握し、それらの維持と向上をはか る。						
進め方	個人種目については、各種目の基本の理論を説明した上で、基礎技術の実践を行い、修得できるようにする。 団体種目については、個人の基礎技術を習得した上で、各種目の運動理論を理解する。また、各種目のルール 説明を行い、試合を行うことで、それらの種目の運営をできるようにする。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 年間授業の概要説明(1) 【ソフトボール】 2. 捕球・送球の基礎技術(2) 3. バッティングの基礎技術(3) 4. ルール説明・関係プレーの理論(2) 5. ゲーム(6) 6. 実技試験 (1) 【バレーボール】 7. パス・スパイク・サービスの基礎技術(7) 8. ルール説明(1) [前期中間試験]			年間計画を説明し、体育授業の目的・取り組む姿勢を 理解する。 F2:1-4 ソフトボールの基礎技術（捕球・送球・バッティン グ）を修得し、ゲームの中で、関係プレーが行なえる ようにする。また、ルールを把握しゲームを運営でき るようにする。 F2:1-4, F3:1-5 バレーボールは、1年時にパスの技術を修得してい るので、主にスパイクの基礎技術を修得する。また、			
	9. ゲーム(7) 10. 実技試験(1) 【水泳】 11. 各種目練習(3) 12. リレー・メドレーリレー(2) 13. タイム測定(1) 【マット運動】 14. 基礎技術の修得(7) 15. 実技試験(1) 前期末試験			ルールを把握し、ゲームを運営できるようにすると共 に、サーブレシーブのフォーメーションを理解し、 ゲームの中で、スパイクが打てるようにする。 F2:1-4, F3:1-5 水に慣れると共に、各競泳種目を理解し、それらの泳 ぎの向上を目指す。 F2:1-4, F3:1, 2 マット運動の基礎技術を修得し、自己の能力に適した 技を選んだ上で、連続的に表現できるようにする。 F3:1, 2			
	【スポーツテスト】 16. 記録測定(3) 【陸上競技】 17. 3種競技の基礎技術(8) 18. 記録測定(3) 【サッカー】 19. パス・トラップ練習(2) 20. ルール説明・ゲーム(9) 21. 実技試験(1) [後期中間試験]			毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握 し、運動能力の向上を目指す。 F1:1-4 個人の運動能力を向上させると共に、走跳投3種目の 技術を修得する。 F2:1-4, F3:1, 2 ルールとシステムを理解し、ゲームを運営できるよ うにする。 F3:1-5			
	【バスケットボール】 22. 対人練習・ルール説明(3) 23. フォーメーションの理論(1) 24. ゲーム(8) 25. 実技試験(1) 26. 【保健】(6) 後期末試験			バスケットボールの基礎技術を修得する。2人以上の プレイを理解し、ゲームの中で活用できるようにす る。また、ルールを把握し、ゲームを運営できるよ うにする。 F2:1-4, F3:1-5 いろいろな社会の環境を理解する。 A1:2			
	評価方法						
	各種目の実技試験と平常点（出席率、授業態度）で総合評価を行う。						
	履修要件						
	特になし						
	関連科目						
特になし							
教材							
教科書「アクティブスポーツ」(総合版) 大修館書店							
備考							
特になし							